

YAMATO-NAKA ROTARY CLUB

1969号

会 長	辻 彰彦	会長エレクト	北砂明彦	事 務 所	大和市大和南 2 丁目 1 番 1 号
副 会 長	橋本日吉	幹 事	富澤克司		大和中央ビル 301
会報委員会	小倉一道	石川達男	野口 宏		TEL 046-262-1717 FAX 046-262-1818
例 会 場	きらぼし銀行 大和支店 4F (毎週木曜日)				E-mail : naka-office@ynrc.jp
					URL : http://www.ynrc.jp

国際ロータリーテーマ

ROTARY CONNECTS THE WORLD

「ロータリーは世界をつなぐ」

RI会長 マーク・ダニエル・マローニー

大和中ロータリークラブ会長ターゲット

「心の絆で、未来を変えるロータリー！」

【本日のプログラム】 10月3日 クラブフォーラム「日本の教育」会長、幹事

【次回予告】 10月10日 卓話「米山奨学について」常盤 卓嗣 様

【第1963回例会】 令和元年9月26日(木) 【司会SAA】 高橋 清 君

【斉唱】「それでこそロータリー」【ソングリーダー】小野 泰弘 君 【童謡・唱歌】山羊さんゆうびん

【ゲスト】 永井 礼正 様

会長の時間 辻 彰彦 会長

ファーストネーム/ニックネーム

先週の後藤パストガバナの研修のなかで、人間関係の基本は「Face To Face」であり、いろいろな機会を皆さんに共有してもらいロータリーの理解は千差万別ですが、お互いの価値観や生活背景を知り合って、自分の事業や人生に生かしていくことがまさにロータリーの原点だと教えられました。



ロータリーの初期の頃から、会員はお互いにファースト・ネーム(名前)で呼び合っていました。個人的な付き合いと友情がロータリーの土台ですから、多くのクラブが会員同士の会話では公式の肩書きを無視して使わないという慣例を採ったのは自然なことでした。

通常的生活では博士、教授、殿、閣下、卿などの敬称をつけて呼びかけられる個人個人も他

のロータリアンからはファースト・ネームで、ジョー、ビル、チャーリー、ジェリーなどと呼ばれるのが普通です。

ロータリークラブ名を記したあの特徴あるバッジ(ロータリー記章)がこのファースト・ネームで呼び合う習慣を促進しているのです。地域によっては、ヨーロッパのように、会員同士を呼ぶのにもう少し公式的な呼び方をしているところもいくつかあります。その他の地域、主にアジアの諸国などでは、新入りのロータリアンにそれぞれ個人的な特徴に関係あるような、または、その会員の仕事や職業を表すようなユーモアたっぷりのニックネーム(あだ名)を献上するという習慣のあるところがあります。

「オクシジン(酸素)」というあだ名の会員は、化学ガス製品のメーカーであり、「ツリー(木)」というあだ名は材木屋のロータリアンに与えられ、「ビルディング」は建築請負い、「ペーパー(紙)」は文房具や事務用品の小売商といった具合です。

また他の会員の持っているあだ名にはその人たちの身体的特徴を説明したもの「マッスル

会員数	出席者	出席率	前々回修正	出席免除	欠席者 6名(敬称略)
34名	23名	74.19%	79.31%	6名	原嶋、池澤、岸、小柳、長野、新村、田井、竹野

（筋肉）」、「foghorn（霧笛）」、「スマイル（はほえみ）」などがあります。ニックネームで呼び合うことは親睦の源泉ともなります。ロータリアンは、ファースト・ネームあるいはニックネームで呼ばれても、それから生まれる友愛の精神は、人助けを実践する奉仕の扉を開くものとなるのです。



青少年育成基金
大和市立下鶴間中学校 校長 西舘真弓 様へ



苗加 真敬 君
海外のロータリークラブを巡っての体験談をお話をいただきました。



ロータリー財団
マルチプル・ルハスフェロ+6 伊藤 英夫 君

幹事報告 富澤 克司 幹事

- ①青少年交換留学生募集、10月25日書類必着。
- ②公共イメージ、奉仕プロジェクト合同セミナー、11月15日開催されます。



委員会報告

【お祝いの方々】
親睦活動委員会 小野 泰弘 委員長

配偶者誕生日 古郡 京子 夫人 9月28日
入会記念日 中村 友彦 君 10月1日



皆出席のお祝い 小倉 一道 委員長
皆出席30年 石川 健次 君



卓話

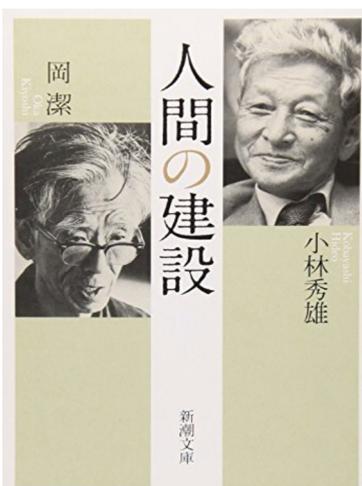
「数学と情緒」
NPO TECUM 永井 礼正 教授

2015年の夜会の折の卓話でも同じタイトルで卓話をさせていただきました。今回は、もう少し具体的に情緒についてのお話をさせていただきますと思います。

数学と情緒に関しては、ガウスの言葉やポアンカレの著作もありますが、日本で顕著にこの



ことに触れて種々のエッセイを著していたのは、岡潔先生です。岡先生は、数学の論文は多変数関数論のみ、エッセイは情緒のみについて、著作を遺されました。このエッセイですが、数学者の著されたものですから、いささか難しい、例外的に、我々が気軽に読めるものとしては、文芸評論家小林秀雄サンとの対談「人間の建設」があります。今回はこの対談の内容について、少しお話をしたいと思います。



小林サンは、もともとフランス文学者なのですが、最終的には「古事記」あるいは、本居宣長サンに辿り着きます。岩波文庫で、「万葉集」、「古事記」、「源氏物語」の原文を眺めると、古文であっても「万葉集」、「古事記」は読みやすいのですが、「源氏物語」は読むことは難しい。これは、「万葉集」は賀茂真淵により、「古事記」は本居宣長により、江戸時代の言葉、近代の表現に翻訳されているからです。それに対して、源氏物語を読むのは難しい、それは、主語を敬語などから類推するしかなく、古語に対する教養を要求しているからなのです。岩波文庫の山岸徳平校注版では、発言の主体が誰なのかを明らかにしてあり幾分読みやすくなっています。僕は、アーサー・ウェイリーの英訳で読みました。

さて、この宣長サン、こんな句を詠んでいます。

しきしまの やまごころを ひととはば
あさひににほふ やまざくらばな

大和心というのは、本来は「おんな心」なんです。宣長サンは、「もののあはれをしるころ」とも表現しています。これは、軍国主義のもと、大和魂と表現にすり替えられてしまいました。「にほふ」とは、「色に染まる」という意味であり、それを媒介する光も、匂いだと仮定してもそれを媒介とする空気は見えません。

これが情緒だということです。

大和というと、「大和物語」があります。それに先立ち「伊勢物語」があります。伊勢というと伊勢神宮ですが、これは本来の名ではなく、「神宮」というのが正式名称です。伊勢とは、「伊」は女性、「勢」は男性を意味し、「伊勢物語」は、女と男の物語という意味を持ちます。それに倣った「大和物語」は、女心の物語なのです。「源氏物語」も光の君の物語ではなく、光源氏と触れ合う様々な女性の心の物語なのです。

古今集に次の句が撰じられています。

さつきまつ はなたちばなの かをかげば
むかしのひとの そでのかぞする

古今集は、言わば数学の公式集であり、様々な解釈がありえます。この句に関しては、その一つの解釈として「伊勢物語」60段に記述がある。中央政府の官僚が、家庭を顧みず職務に注力し、それをさみしく思っていたその妻は、やさしくしてくれた男性と地方に逃げてしまう。時を経て、出世した官僚が地方に出向いた折、もてなし役として接待役の妻を指名する。その膳に盛られたミカンの匂いに、その女性が昔の妻だと気づき、この句を詠んだという。この物語は、数学の証明に相当します。

算数は、測定を前提としています。ですから、物理量の取り扱いなのです。しかし、数学は、抽象的な概念を取り扱うので、対象は各個人の心の中にある。直線や正三角形などは、この世には存在しません。そしてその数学は本来人間には理解できません。数学を理解したという状態においては、未解決問題が残ってはいけないうのです。では、数学をどう把握するのか。それは共感なのです。各自個性を持って数学者は数学をしています。その他人の数学に共感しあう、しかし、なぜ共感するのかは、不思議です。このときその共感を支えているのが、情緒であると考えています。なぜ情緒があるのかは、わかりません。しかし、ビッグデータを媒介するものは情報であり、大和心や数学への共感を媒介するものは情緒なのですが、この情という符合はおそらく偶然ではないでしょう。

自由に生きていくためには、数学が必要とな

ります。子供たちが将来不利益を被らないために、数学を把握すること、また把握させることが必要です。そのためには、共感する、また共感させることが重要です。共感すること、それは誰にでも本来備わっている才能です。桃太郎というおとぎ話がありますが、これは全国ほぼ同じ内容で伝わっていますが、人間はそれに共感している、桃から生まれた少年に出会ったこともないにもかかわらず、数学が嫌いだという人とお話することが多いのですが、理由は理解できない、難しいからという。そもそも、数学は理解できないのですから、これはしょうがない。しかし難しいという理由は、理由になりません。人間にとって、難しいということは、本来面白いことなのです。ゴルフなどのゲーム性というのは、この難しさの工夫なのです。簡単なことはつまらない、人間はそのようにできています。

情緒というのは、一つではなく、家庭には家庭の、教室には教室の、国には国の、文化には文化のというように夫々の情緒があります。このロータリーにはロータリーの情緒がある。数学を子供たちが把握する、そのための最も身近な情緒は、国でも、教室でもなく、家庭です。身近な保護者御自身がメンタリティーを顧みながら、子供たちの気持ちに共感し、子供たちに共感を与えるためにも、皆さんがまず数学に共

感し、またその姿勢を子供たちに示すことが必要です。もちろん教師も同様のことが言えます。そのお手伝いになればと思いながら、大学やNPO TECUMでの活動をしています。



スマイルボックス 北砂 明彦 委員長 本日 ¥11,000 累計 ¥227,300

辻 彰彦 会長、富澤 克司 幹事、
橋本 日吉 副会長

本日は卓話「数学と情緒」、永井礼正教授、よろしくお祈いします。伊藤さん、元気な様子で安心しました。

伊藤 英夫 君

元気になり、やっと出席できました。もう少し頑張ります。よろしくお祈いします。

古郡 清 君

女房の誕生祝いありがとうございました。退院して2か月余り。元気に復活して生活しています。

後藤 定毅 君

伊藤さん、しばらくぶりです。大変な病気で入院されていたとのこと、元気になられて良かったです。伊

藤さんに元気でいていただかないと、私が一番古くなつてしまい困ります。

石川 健次 君

伊藤会員お久しぶりです。お元気そうで安心しました。皆出席30年のお祝いありがとうございました。

中村 友彦 君

入会記念日のお祝いをありがとうございます。

橋本 日吉 君

弊社社員のお嬢様が、9/28～10/8開催の第74回国体神奈川県代表として、スポーツクライミング競技 ボルダリングで出場いたしますので、応援をお願いいたします。少年少女部阿部桃子(相模女子高)選手です。よろしくお祈いします。